



THE SUGGESTION

# 提 言

中小企業組合総合研究所機関紙

4月1日

第147号(2018年)

提言・約束事

1. 基本的には読者参加型の提言新聞とします。併せてニュース解説や話題を提供します。
2. 投稿の場合、社会規範に反するものは受け付けません。原稿掲載はスペース等の関係もあり編集者の判断にお任せ下さい。

発行所

一般社団法人 中小企業組合総合研究所

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ2F

電話 06-6328-5577 FAX 06-6328-5588

URL http://www.kumiaisouken.com/

## 2018年生コン春闘

関西生コン関連労働組合連合会(3労組)と各地区経営者は、2018年春闘の集団交渉を学働館・関生で行なった。今春闘にあたり、改めて労使協力による業界安定を訴えた。労組側は春闘統一要求書の趣旨説明を行い、コンプライアンス順守などを求めた。



業界歴史の再認識、③労使協力による雇用と経営の安定の3つの指針を表明した。続いて、関西生コン関連労働組合連合会の武建一議長が18春闘統一要求書の趣旨説明を行なった。武議長は、「直接雇用主の責任を追及することだけでは賃上げが困難である。我々労組は、中小企業が潤う産業政策に取り組み、中小企業を側面から支援する。その結果として得られる財源を、賃上げや福利厚生に資金として求めるという

基本路線は変わらない」と、今春闘に臨む姿勢を表明。経営者側が示した指針に対して高く評価をしつつ、労使共通の問題解決に向けて「共に取り組む」と呼応した。

3月7日の第1回交渉は、労働側から業界の現状を説明。変わりつつある業界の認識と動向も付け加えた。初めに経営者側の大坂兵庫生コン経営者会執行部刷新の報生夏後、門田新会長が今春闘にあたり、①法令順守、②

雇用主の責任を追及することだけでは賃上げが困難である。我々労組は、中小企業が潤う産業政策に取り組み、中小企業を側面から支援する。その結果として得られる財源を、賃上げや福利厚生に資金として求めるという



発信力が低下、②会員拡大急務、③平成29年度春闘妥結内容は履行する、④各種委員会で議論してきたことが現時点では、前進が困難などの課題が報告された。

議長は、「今は情報を精査して意見交換をする段階」として、現状を鑑み、労使の合意の下、今春闘の回答は次回以降に持ち越された。

第3回交渉は3月22日、経営者側の門田会長から「経営者側としては要求に対して誠実に回答する」とした。続いて島田副会長は、「現状を鑑みて各項目の回答をさせていた

### 森友学園問題 政治家の政治責任を究明

3月27日の衆参予算委員会、森友学園と財務省の国有地取引に関する公文書改ざん問題について、佐川宣寿氏(当時の理財局長)を証人喚問した。テレビに映し出される同氏の表情は、真実を隠し

ているように見える。「刑事訴追を受ける恐れがあり、答弁を差し控える」と言い、ほぼすべての証言を拒否。その中で安倍首相と昭恵夫人、官邸の関与についてははっきりと否定した。

用意されたシナリオ通りの証人喚問。多額の退職金を手にして、時間が経てば天下り機関へ再就職というところだろう。

憲法で、「証人の出頭、証言、記録の提出を要求することができ」と定められているが、証人喚問は、政治的な思惑に集中し、関心の動機についてはまったく引き出せていない。

本来、政治主導であるべきはずが、安倍首相中心の政策路線という政治支配になっている。与党政権を守るだけでなく、国会の三権分立による行政監視の役割を、今こそ見直すべき。



連帯労組関西支部、全港湾大阪支部、近圧労組で構成される関西生コン

3月11日、関西生コン関連労働組合連合会は大阪市此花区夢洲で、「18春闘勝利、生コン産業の民主化、安倍政権打倒、辺野古新基地建設反対」をスローガンに、自動車パレードを開催した。

### 2018春闘勝利 3・11自動車パレード

田秀義委員長が「昨年ゼネコンは最高利益を上げた。それを圧送料金の改定につなげていき」と決意を述べた。続けて連帯労組・武委員長は「賃上げ原資は、大企業の収奪と闘う観点で勝ち取る。関西は一部協組幹部らにより、多くの組織、企業経営者が重圧を受けている。この様な組合への圧力に打ち勝つための団結の意志を問う本日の集会だ」と、参加者に春闘での力点を示した。

全港湾・國分仁昭副委員長が「権力などによる労働組合潰しには徹底的に抵抗していきたい」と挨拶。続いて近圧労組・桑

その後、春闘要求などを掲げた産業用トラックが大阪市内でパレードを行なった。

### 目指せ! 3・29決着

細項目の回答は次回へ持ち越し」と発表。「昨年末からの業界混乱により、各社とも諸事情が異なっており、刻一刻と変化する業界や各社の情報を精査し続けているのが現状」と述べた。事務局から経済要求以外の各要求に対する回答が行われた。

関係団体にコンプライアンス順守・業界健全化を阻害する排外主義的主張に基づく行動を行う集団や団体との関係を断つ2点。企業の社会的責任に関する要求については、法令順守を啓発する。③政策要求/各項目に連する関係団体に働きかけを行う。

回答を受けた武議長は、「春闘の回答は経営者自身が置かれる社会的な立場の認識が問われる。本年の回答は、経営者側の設立意義や方向性を考えたものとして評価したい。次回が最終回答日だが、合意に向けて労使の一致点を見出し、詳細課題は各種小委員会に詰めていかなければならない」と一定の理解を示した。経済要求については、「ゼロ回答は受け入れない」と釘を刺した。これを受けて経営者側から労使の代表による最終回答前の事前折衝が持ちかけられ、労組側はこれを受け入れた。最終日は3月29日。

### 四季折々 春

来年度の春に天皇陛下の退位によって平成の年号は終わります。この平成三十年間に発生した甚大な被害を引き起こした自然災害は、平成三年六月の雲仙普賢岳の大規模火砕流から二十八年四月の熊本地震まで十二回発生しています。この十二回の災害によって失われた命は、死者・不明者合わせて2万9,691人。巨大災害の正確な予測は不可能であることが明確になり、「想定外」は通用しない時代となった。

特に本年三月十日で七年が過ぎた東日本大震災による福島原発の事故は、廃炉計画が「2041年」終了の予定で、現在の廃炉見積り費用は「30兆円以上」と試算されているが、後々国民にその付けが回ってくる。

政府と東電は、原発事故地域周辺で避難指示解除を発表し、住民の帰還に向けて取り組んでいるが、帰還者は約3%程度。帰還して農作物を作っても、風評被害で収入にならないため、避難者帰還計画の復興加速は進まない。

また、帰還区域困難地域解除は五年先といわれ、更に原発から50キロ以内で発生している子供たちの甲状腺癌の発病や、災害救済資金(350万円)の返済が今年度から開始されるため、被災者は収入減によって苦悩している。

このような状態では、桜前線が花吹雪を散らしながら日本列島を北上しても、避難して来る被災者に春の訪れは来ない。

(ツボタ)



## 幕末・明治の「お雇い外国人」と教育(1)

大阪労働学校・アソシエ顧問  
京都大学名誉教授

本山美彦



上野彦馬のスタジオで記念撮影(写真中央にフルベッキ)

## フルベッキ(一)

明治以降の日本人の思考に影響を与えた外国人は数多い。彼らは、欧米に留学経験のある日本人の若者を通して、現在の私たちをも支配している思考様式を日本人に植え付けた。その最たる人物がフルベッキ(一八三〇〜九八年)である。

フルベッキというのは、彼自身が日本で名乗った名前である。日本語ではとても正式名を発音できなかったからである。正式名は Guido Herman Fridolin Verbeck(グイド・ヘルマン・フリドリッヒ・ヴァーベーク)である。

フルベッキというのは、彼自身が日本で名乗った名前である。日本語ではとても正式名を発音できなかったからである。正式名は Guido Herman Fridolin Verbeck(グイド・ヘルマン・フリドリッヒ・ヴァーベーク)である。

## 労働学校・アソシエ第一期生修了式

一般社団法人大阪労働学校・アソシエは、3月17日に学働館(大阪市西区)で、初めての修了式を迎えた。

2年間の修了過程を終えた5名の学生は、皆に祝福され、気持ちを新たにしたい。

武建一代表理事は開会挨拶で、「資本主義は自由で平等と言われているが、資本主義の仕組みをよく理解した上で、実際は違うということを知ってほしい。根源にある競争原理によって、人間社会が歪んでいる。労働学校は働く人が主人公になれる共

生協働の社会を目指している」と述べ、「学んだことは、それぞれの分野で生かしてほしい」と活躍を期待した。

本山美彦前学長は、「コソコソと仕事を続けてきた人の作り上げたものは心に響く。怒られながらも経験を積む。最終的には、自分たちの自信になり、『いい表情』になる。それが学校。今はネット社会で議論する場がなくなった。

受け身の立場の中で、労働学校の存在は貴重だ。皆さんは、講師と議論を交えた一つひとつの積み重ねで成長した。今後もっと発展できると確信している」と修了生にエールを送った。

引き続き修了生の論文発表があり、本山前学長と斉藤学長による論文評価、修了証書授与が行なわれた。引き続き催された懇親会は、講師、修了生の垣根を取り払い、2年間の思いを語り合い、とても和やかな時間が流れた。



上野彦馬写真機復元

クという。オランダのザイスト(Zeist)市に生まれた。両親は敬虔なルター派の信徒であった。彼自身は「モラヴィア教会」で洗礼を受けた。この地の伝統である徹底した外国語英独、仏)教育を受け、彼の語学の才能が開花することになった。

一八五二年、義兄の招きで渡米し、ウインズコンシン州で鑄物工場のエンジニアとして働き、ニューヨークに移住後、コレラで死の危機に直面(二三歳、病氣快復後、宣教師になることを誓い、二五歳の時にニューヨーク州の「オーバーン(Auburn)神学校」に入学、二七歳(一八五七年)、サミエル・ウィリアムス(中国名、衛三畏、ウエイ・サン・ウェイ)の呼び掛けに応じて日本に赴任することを決意、「米オランダ改革派教会」から「按手礼」(あんしゅれい)を受けて日本行きが決定する。按手礼とは、聖霊を受けて「正教師」の資格を授かること。

「米オランダ改革派教会」は、米国に移民したオランダ改革派の信徒が、二六二八年に米国で設立した団体である。現在の正式名は「在米改革教会」(Reformed Church in America=RCA)と言い、米国第二位の大改革派の教団である。

同教会派は、ルター派であり、主としてオランダ南部を拠点としていた。しかし、北部で勢力を伸ばすカルヴァン派との抗争が続き、ルター派は、改革派教会として、米国に脱出先を求めた。

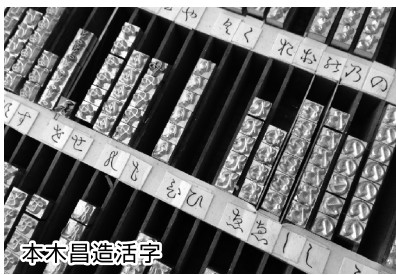
日本が開国すると、一八五九年二月には、フルベッキ以外に、S・R・ブラウン、D・B・シモンズを派遣し、以降、ジェームス・ハミルトン、バラ、ヘンリー・スタウト、チャールズ・ウォルフ、J・L・アメルマン、ユージーン・ブラス、マーティン・ワイコフ、ハワード・ハリス、アルバート・オルトマンズなど錚々たる宣教師を送り出し、明治

期の日本の学校教育に大きな影響を与えた。

フルベッキは、まず長崎で「済美館」の英語講師として赴任した。この済美館は、最初は「長崎英語伝習所」として、幕末期の安政五(一八五八)年に英語通詞養成のため設置されたものである。その後、洋学所→語学所→済美館と改称を重ねたのち、明治政府により接收され、慶応四(一八六八)年、長崎府管轄の「広運館」となり、外国語教育に限定せず、和漢洋の三学を講じることとなった。

フルベッキは、一八六四年に校長となり、その時の塾生には、大隈重信(一八三八〜一九二三年)、副島種臣(一八三三〜一九〇五年)らが出た。大隈重信はフルベッキに傾倒し、慶応二(一八六六)年、佐賀藩が長崎に設けた「到遠館」にもフルベッキを招き、自らもそこで学んだ。

フルベッキは、本木昌造(一八二四〜一八七五年)が開発した活字印刷技術にも貢献している。また、その



本木昌造活字

本山美彦氏のブログ  
「消された伝統の復権」アドレス:  
[https://blog.goo.ne.jp/mtoyama\\_2006/e/f7d169c3687aa89721867d118905f5fb](https://blog.goo.ne.jp/mtoyama_2006/e/f7d169c3687aa89721867d118905f5fb)

フルベッキは、本木昌造(一八二四〜一八七五年)が開発した活字印刷技術にも貢献している。また、その



長崎英語伝習所

時の塾生とフルベッキの写真は、日本最初の写真館を経営し、自らも戦場カメラマンとして活躍した上野彦馬(一八三八〜一九〇四年)によって撮影され、その写真は県立長崎図書館に残されている。

## 近畿生コンクリート圧送協同組合



理事長 豊田 明彦

〒533-0032  
大阪市東淀川区淡路3-6-31  
協同会館アソシエ2F

TEL 06-6328-3900 FAX 06-6328-3901

Kinbara



## 近畿バラセメント輸送協同組合

近畿圏600台のセメント輸送ネットワークで

安全・効率化に貢献します。  
Kinbaraは安心のマーク

理事長 毛屋 和重

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31  
協同会館アソシエ 2F  
TEL 06-6328-4700 FAX 06-6328-4701

近畿生コン関連協同組合連合会 加盟(近バラ協・輸送協・近圧協・阪神協)

## 第18回経営者セミナー 開催

### 市場原理主義に対抗するには”連帯の絆“

組合総研と大阪兵庫生コン経営者会共催の第18回経営者セミナーが2月22日、協同会館アソシエで開催された。講師は大阪産業大学名誉教授、大阪労働学校・アソシエ学長の齊藤日出治氏。『グローバル資本主義の破局にどう立ちむかうか―市場から連帯へ』と題して講演を行なった。



開会挨拶は、組合総研の豊田明彦理事が行ない、続いて齊藤日出治先生の講演に移った。資本主義型経済に支配される社会の行き詰まりが世界各地で露呈する昨今、いま求められる経済・社会システムへの光明と課題が提起された講演となった。

齊藤講師は、「昨年より、資本主義が終わる・壊れる」というテーマで刊行されている本が多く出版されている」ことを指摘。

日本のみならず、世界各国で経済学者やジャーナ

リストがこのテーマで本を出版していることに触れた。続いて資本主義経済学発展の歴史と、実態経済の歴史を解説。第二次世界大戦後の資本主義の歴史を、3つの時期に分けて整理した。



とが前提となるからである。従って「資本主義が行き詰っている」と言われるのは、集団で生活する生き物であるヒトの習性を破壊するところにまで到達しているからだ」と、参加者は一応に納得していた。

「限らない成長」を前提とした資本主義が終焉に向かうのは自然の摂理とも言えるが、講師は更にこれを、「財やサービスを売買する取引行為が、実は人々の暮らしを破壊し、暴力を発動する」が故であるという。

そして、「市場の価格変動によって需要と供給を調整する仕組みを作る」と、連帯とか協同に基づく成り立つ社会が壊れる」と強調。社会が壊れる理由として、「労働力の需要と供給の関係を調整するのが労働市場だが、労働者の生活基盤が保障される仕組みがあると労働市場は上手く機能しない。機能させるためには、生活条件を奪われてやむを得ず労働市場に赴くという条件を作り出さなければならぬ。

## 大阪府都市整備部主催 第16回コンクリート圧送勉強会

3月5日、第16回コンクリート圧送勉強会は、大阪府都市整備部主催で、大阪府咲洲庁舎(大阪市住之江区南港北)2Fの咲洲ホールで開催された。近畿生コンクリート圧送協同組合から豊田理事長をはじめ、講師で2名が参加協力しました。

当日は、大阪府下市町村の行政職員総勢80名が参加し、講義に興味深く耳を傾けていた。

また、今後の課題について、閉塞メカニズムの解明のため、使用材料や調査や、吊り打ち工法の課題にも重点を置いて継続して研究していくと話しました。

続いて、近圧協組の安全管理課長・増田賢氏が「コンクリート圧送工事における安



全管理・安全対策」をテーマに、写真を使用して事故事例の説明を行いました。

「資本主義そのものの構造分析と、なぜ終焉に向かっているのかということ」を非常に分かりやすく解説していただいた。資本主義の世界では、わずか8人の資産家が36億人の総資産に匹敵する資産

## 能動的な闘いで歪んだ社会を変える



総括で武代表理事は、「資本主義そのものの構造分析と、なぜ終焉に向かっているのかということ」を非常に分かりやすく解説していただいた。資本主義の世界では、わずか8人の資産家が36億人の総資産に匹敵する資産

### 株式会社ティワイケイ高槻生コン

代表取締役 門 田 哲 郎

〒569-1012 大阪府高槻市大字成合百三十三番地の四  
電 話 (〇七二) 六八八七九〇〇  
F A X (〇七二) 六八八七九〇一

### 株式会社コーイキ輸送

代表取締役 海老 鼻 康 三

〒533-0022 大阪市東淀川区菅原四丁目六番四号  
電 話 (〇六) 六三二五八八二五(代)  
F A X (〇六) 六三二五八八二八

### 株式会社スズキケンセツ

代表取締役 鈴木 貞 雄

〒573-0012 大阪府枚方市尊延寺四五八〇一七  
電 話 (〇七二) 八五八八四二九  
F A X (〇七二) 八五九二九三〇

### 一般社団法人 大阪兵庫生コン経営者会

会 長 門 田 哲 郎

〒530-0001 大阪市北区梅田一―一―三  
電 話 (〇六) 六三三二七五五二  
F A X (〇六) 六三三二七五五二

### 渡辺千賀子 アソシエ後援会

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路三―六―三  
電 話 (〇六) 四八六二一四〇二二  
F A X (〇六) 四八六二一四〇二三





## 反社会的勢力排除/反原発etcで活動 連帯ユニオン議員ネット第13回大会



**反社会的勢力の「関西生コン産業・労組」攻めに決議案を採択**

連帯ユニオン議員ネット(代表・戸田ひさよし門真市議)の第13回大会が2月9日、学術館 関生(大阪市西区)であった。日頃、市民目線で活動する同組織は、連帯労組・関西生コン支部に加えられてきた差別的な発言をする団体による組織攻撃など、一連の不当労働行為を厳しく問う決議案を採択、新年度布陣も決定した。

【解説】昨年12月、連帯ユニオン関西地区生コン支部(関生支部や全港湾大坂支部が、生コンクリートの価格は大幅に引き上がった一方、関連業界で価格低迷が続いたままにある生コンクリート輸送やバラセメント輸送の、公平な運賃引き上げを求めストライキを行なった。

この行動後、一部の協組幹部は理事会や総会でこの労組側ストライキについて「威力妨害」や「組織犯罪」の行為と話していたことなどが戸田代表の説明にあった。それによると、協同組合内に対策本部を立ち上げるという提案がされた。

さらに同執行部は、それまで労働組合と良好な関係にある工場など、労働組合員が就労する生コン工場や輸送会社の利用を差し止めることや、労働組合との交渉窓口機関から脱退するよう求め、さらにこれらに従わなければ、生コンクリートの出荷割当についても、今後の対応を考えていくと宣言し、動き出した。

この間も「全国から反社会的行動でなる活動家を関西に呼び寄せ、ストを実行した労組と良好な関係にある生コン工場や輸送会社にプレッシャーを与え、大阪にとどまらず、周辺地域にも組織で不当労働行為を働かしている」との、今回の労組見解から戸田代表の問題提起をベースに、事態の究明に乗り出すこととなった。



戸田代表

この異常事態を知り、全国の市民派活動議員で構成される同ネットワークが今回大会で、このような行動は許しがたいものとして、特別決議を採択した。今も続く重圧の打開と、反社会的勢力の動きを世論に訴える活動を、今後各地で始めようとする議員集団自らの宣言で、この動きは全国に急速に拡大するものと大きな期待が寄せられる。

当日の集会では今般、安倍内閣を追い詰める「森友事件」摘発の端緒を地元豊中市から告発した木村真豊中市議(同会副代表)らが世論への喚起を図ると決議した。

集会では、反社会的勢力を地元地域から撤退させる方向の意思確認も含めて、戸田代表から「2019年統一地方選を控え、地域での反社会的言動で議員に立候補する動きを見せる人たちの問題点をしっかりと考えよう」と進んだ。

重点テーマが示された。次いで、大阪市内で反社会的勢力の対処条例を活用した運動を、弁護士として共同している在問秀和弁護士をパネラーに、「大阪市のヘイトスピーチ対策条例施行後の事態と運動状況」の報告と総括が、従軍慰安婦問題支援・反ヘイト運動を継続する市民活動派代表からは、「兵庫や京都、川崎市での動向」が、「岸和田の不正シッター」として有名なたかひら正明氏からは「選挙に絡んだヘイト活動家の動向や人脈など」の各テーマによる講演やその後のフリーディスカッションで、反社会性などの認識共有が参加者の間で進んだ。

## 尾上部屋関西後援会

### 行く先々で広がる暖かい声援の輪

尾上部屋関西後援会(中西正人会長)は、大阪場所へ向けての激励会を3月2日、リーガロイヤルホテル(大阪市北区)で開催。千秋楽の3月25日は、ウエスティンホテル大阪(大阪市北区)で打上会を開催。両会とも多数の参加者で盛況であった。また、その他催事も例年を上回る状況であった。



大相撲大阪場所(3月11日初日)が開催されるのに先立ち、2月27日、宿舍の「みのたにグリーンズボートホテル」(神戸市北区)で「土俵開き」の神事が、尾上部屋関西後援会や地元後援会関係者、熱心なファンが見守る中、大相撲の古式作法に則り厳かに執り行なわれ、大阪場所での尾上部屋力士の活躍と健康を祈願した。



その後、後援会事務局

翌28日は、高槻市の福祉施設を訪問。近隣の幼稚園児70名が力士と相撲をとるなど、入所者の声援と拍手で施設は大盛り上がりとなった。(写真上左)



が入る協同会館アソシエの近くにある阪急淡路駅前商店街に移動。尾上親方と力士全員が商店街を練り歩いた。



今年は大坂学院大学ブラスバンド部の方々がマーチングバンドの協力をしてくださり、尾上親方も「本当にありがたい。大

きな励みになる」と挨拶。商店街は力士をひと目見ようと集まったお客さんや熱心な相撲ファンで溢れ、昨年以上の盛り上がりとなった。

同日夕方からは、協同会館アソシエで地域交流会が行なわれた。近隣から多くの親子が詰め掛け、間近に見る力士の迫力に

## 熱気溢れる満員御礼の各会場

激励会に580人・打上会に680人が来場

3月2日は激励会が開催され、大阪場所での尾上部屋力士の活躍を願う580人の来場者で溢れた。後援会会長、来賓挨拶の後、各力士が大阪場所に向けての決意表明を行ない、一層の盛り上がりを見せていた。



3月25日の千秋楽後に催された打上会には680人が来場。尾上部屋力士が来場所での活躍の誓いを述べると、会場から「がんばれ!」の声援が飛んでいた。満員御礼の会場は力士のより一層の活躍を願う熱気に溢れていた。

## 近酸運輸株式会社

代表取締役 岩永光雄

〒550-0021 大阪市西区川口二丁目四番二号  
電話(06) 6583-5546  
FAX(06) 6583-5547

## 関西生コン関連労働組合連合会

全日本建設運輸連帯労働組合  
関西地区生コン支部  
執行委員長 武建一  
〒550-0021 大阪市西区川口2-4-28  
TEL06-6583-5546  
FAX06-6582-6547

近畿コンクリート  
圧送労働組合  
執行委員長 桑田秀義  
〒552-0002 大阪市港区市岡元町3-6-20  
TEL06-4393-6630  
FAX06-4393-6631

全日本港湾労働組合  
関西地方 大阪支部  
執行委員長 樋口万浩  
〒552-0021 大阪市港区築港1-12-27  
TEL06-6575-3131  
FAX06-6575-3134



## コンクリートのある風景 122



# 大切なのは人、物、金の順番 平和工業株式会社 (滋賀県東近江市)

平和工業(株)のある東近江市は、2005年に八日市市、神崎郡永源寺町、五箇荘町、愛東町・湖東町の1市4町が合併して誕生した。工場敷地内にかつて町と市の境があったことから、プラント最上部の旧愛東町側の花であるマーガレットが、旧八日市市側には有名な大風が描かれている。

「湖東地域は大きな物件があまりなくて、工場の増築工事で5000、6000㎡ぐらいのものが少しはありますが、一つの現場で何万㎡という現場も今はありませんね」と奥宗樹・代表取締役は近況を話した。2024年に第79回国民体育大会、第24回全国障害者スポーツ大会が滋賀県で開催されるが、「主会場の県立彦根総合運動公園や周辺の再整備など、期待をしている部分もあるので、まだまだ具体的に物を作るとかいう段階には至っていません」と言う。現場での苦労を聞くと、「ト



大型から小型まで幅広く揃える

ンネル工事の時ですが、ミキサー車のラジオからたまに流れてきた女性DJの声を聞いた現場監督から、『山の神が嫉妬して事故が起きる。電波でもあかん。ラジオを切れ』と怒られました」と笑った。平和工業は今年、創業から55年目を迎える。長く続けてこれた秘訣を聞くと、「景気が良い時は皆さん商売を広げようとしますが、ここではそれはあまりしませんでした。していれば、それだけ大きくはなりますが、借金も増えます。急激に事業を拡大しなかつたことは、逆に良かったと思っています」と振り返った。続けて「でもこれからは、何か考えないといけないでしょう。安定した収入があれば、



広々とした試験室

## 提言

・投稿歓迎

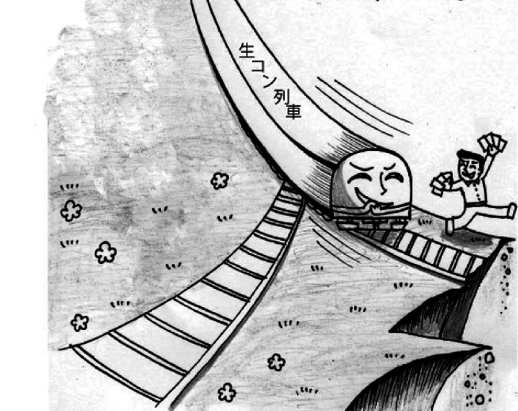
国会は揚げ足取りとウソばかり(晋・ゴジラ)  
窮状(9条)を聞く耳持つのが  
民主主義(小林一首)

「もう国会を見るのもうんざり」という方も多いと思います。ウソをつく時間にも文書改ざんの時間にも、すべて税金が使われていることを忘れなく。民主主義の基本は「少数意見にも耳を傾ける」ということです。お偉くなる耳が遠くなるのかな…

現在、二人の20代の従業員が頑張っている。「運かしたらあかんて」と言ってます。そのために僕が若い子に残しているものは「模索中です」と先々の考えを示した。

業員が頑張っている。「運かしたらあかんて」と言ってます。そのために僕が若い子に残しているものは「模索中です」と先々の考えを示した。

## 映画



テーマ：コンプライアンス違反は地獄への道



日時…5月11日(金)17時  
会場…協同会館アソシエ(大阪市東淀川区淡路3-6-31)  
講師に、TBSテレビ「サデーモーニング」のコメントーターなどで活躍中の、見えてきたこと(仮題)フォトジャーナリストの安田菜津紀さんを迎えます。

## 職員研修の参加者募集中

フォトジャーナリスト安田菜津紀さんを迎えて

安田菜津紀さんはカンボジアを中心に東南アジア、中東・アフリカや国内の様々な場所を取材されておられます。講演では紛争地や被災地の様々な写真やエピソードを通して実情を伝えていただきます。多くの人にとっては日常以外の世界を知るきっかけとなり、これからの自分たちの生き方を見つめ直す良い契機となることと思います。一般の方のご参加もお待ちしております。

●お問い合わせは組合総研(06-63328527)まで。

## ■安田菜津紀さん写真展

5月7日(月)～17日(木)10:00～18:00(最終日は15:00まで)  
オリパスギャラリー 大阪・大阪市西区阿波座一丁目6番地1号 M1D西本町ビル 日曜・祝日休館。入場無料。

【講演者プロフィール】  
安田菜津紀(やすだ なつき)。1987年神奈川県生まれ。上智大学卒。スタジオアフターモード所属フォトジャーナリスト。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、カンボジアを中心に、東南アジア、中東・アフリカ、日本国内、明日(新潮社)。

で貧困や災害の取材を進める。

東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。2012年、「HIVと共に生まれる」ウガンダのエイズ孤児たち」で第8回名取洋之助写真賞受賞。写真絵本に『それでも、海へ陸前高田に生きる』(ポプラ社)著書に『君とまたあの日』(新潮社)。

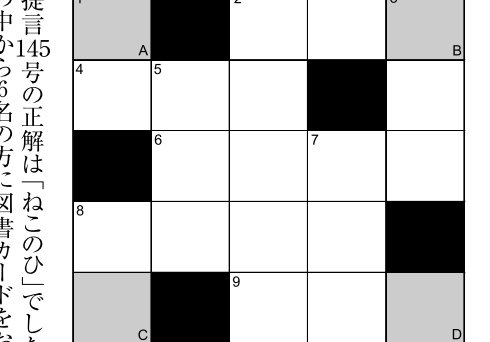


イベント観覧は無料です(詳細は連帯フェスタのホームページをご覧ください)。雨天中止。お問い合わせは連帯ユニオン(電話06-6583554)まで。

連帯フェスタ2018に行こう  
4月22日(日)10時～万博記念公園お祭り広場  
連帯フェスタは、日々健闘されている関係者やそのご家族の方々は、もちろん、誰もが交流を深めることができる春のお祭りイベントです。ステージゲストには、5人組ダンス&ボーカルグループの「Dai-ic」が登壇。美味しいグルメ出店や子供が遊べるプレイスポットなど、会場内にはお楽しみが盛り沢山!

## 4月のクロスワード

クロスワードパズルを解いて、A～Dに入る文字を並び換えて出てくる言葉を答えてください!



【タテのカギ】  
1. 秩序が保たれるものは?  
2. ピンク、茶、緑とカラフルになりました。  
3. 今年5年ぶりに神様が降りました。  
5. バカボンのパパの職業は何屋さん?  
7. あとをつけます。  
8. 前号掲載の「ベトナムの旧正月」を何と言います?  
【ヨコのカギ】  
2. 「R」なら「米」、「L」なら「シラミ」。  
4. ボクサーやプロレスラーが着用します。  
6. 三代住めば…  
8. 8億円の値引きは本当に0000だった?  
9. 「紅玉」と言っても「リンゴ」ではありません。  
【正解者6人に抽選で図書券進呈】 お名前・住所・電話番号・答えを葉書、FAX等に記載し組合総研編集部へ4月20日までに送ってください。提言へのご意見なども、お待ちしております。